

研究課題	秋冬期における一、二年生草花の展示栽培（ニゲラ）
背景・ねらい	新潟市では晩秋から早春にかけて出荷できる切花品目が少ないため、秋冬期における無加温ハウスで栽培が可能な品目・作型等を検討し、切花出荷期の拡大を図る。
担当者	山口 次郎, 渡辺 智之, 船木 武人, 渡邊 一彦
研究期間	2020～（1年目）

1 目的

秋冬期に無加温ハウスで栽培が可能であり、市場での需要が高い品目を展示栽培し、当該期に球根以外で種苗費が安く換金可能な草花類（秋播き二年草）の新品目導入のための資料とすることを目的とする。

2 方法

(1) 供試品目：ニゲラ（5品種，図1）

ミスジークルシリーズ：ホワイト，スカイブルー，ブルー
 パピローサアフリカンブライド
 ブルーイスタンプール

<福花園>

<タキイ>

(2) 試験区の構成・規模

各品種各 32 株（16 株×2 反復）

※パピローサアフリカンブライドのみ 20 株（10 株×2 反復）

(3) 耕種概要

ア 試験圃場：鉄骨ハウス 4

イ 播種：7 月 17 日

ウ 催芽処理：播種時期が高温期で発芽適温以上となるため、15℃の冷蔵庫で発芽が揃うまで庫内で育苗し（11 日間），その後遮光ハウスで育苗。

エ 定植：8 月 7 日

オ 栽植様式：畝幅 80 cm，条間 40 cm，株間 30 cm，2 条植え

カ 施肥：基肥（kg/10 a）N-P₂O₅-K₂O= 10-10-10

追肥 生育の状況を見ながら適宜施用。

キ 電照：定植直後より日長延長（日没後～PM10:00）

ク 保温：11 月上旬から保温開始（二重カーテンにて）

(4) 調査項目

採花日，採花本数，切花長，莖径，節数，側枝数，花径，切花重

※年内採花を想定しているため，12 月 21 日で調査終了

3 結果の概要（図2）

(1) 冷蔵庫内での催芽処理時の暗黒化での発芽および育苗時の遮光が影響し、幼苗が徒長気味であった。さらに、定植後の高温対策で行ったミスト散布と遮光が影響し、徒長が特に顕著であった。

(2) 発芽はミスジークルシリーズは良好であったが、ブルーイスタンプールは 30%程度、パピローサアフリカンブライドは 15%程度と芳しくなかった。定植後は高温対策としてミスト散布を行ったが、徒長が著しく、フラワーネットを用いた誘引も困難であった。そのため、採花したものはつる性植物のような形状をしており、切花としての利用は困難と思われた（図3）。

平均採花日は、ミスジークルホワイトとスカイブルーが 10 月初旬、ミスジークルブルーとパピローサアフリカンブライドが 10 月中旬となったのに対し、ブルーイスタンプールは 12 月 21 日の調査終了時点で未開花株が 4 割程度残っていた。

形質は、ブルーイスタンプールが 141.2 cm と切花長が最も長くなり、他の品種は 60～80 cm 台となった。花径は、ブルーイスタンプールは 5.5 cm とやや大きく、他品種は 4 cm 前後であった。

今回はピンチを行わず栽培したが、定植直後の高温で頂芽が潰れ、結果的にはピンチ栽培と同様の栽培となった。特にブルーイスタンプールで側枝が繁茂したため、枝の整理が必要と思われる。

4 まとめ

本試験では、本来秋播きで春咲きのニゲラを夏播き秋冬咲きの作型で栽培した。

厳暑期の播種・定植栽培であるため、種子冷蔵や育苗時の遮光、定植後のミスト散布などの処理を行った。

全品種で共通して軟弱徒長となり、出荷に適した出来とはならなかった。

パピローサアフリカンブライドは発芽率が悪く、定植後の生育も思わしくなかったため、本作型には不適と思われる。

ブルーイスタンプールは生育が旺盛で分枝も良くしていたが、開花が遅く、年内の採花は難しいと思われた。

ミスジーキルシリーズは10月上旬～中旬が平均採花日となり、生育量も問題はなかった。ただし、本シリーズは花の形質にバラつきが見られ、八重と一重が混在していた。

植栽は本試験より密植とし、無摘芯の一本切りが向いていると思われる。

本試験では、播種時の高温対策として、冷蔵庫内(15℃)で育苗を行ったが、発芽揃いが悪く、早期に発芽した個体は暗黒化で徒長したためバラツキが大きく、徒長株が多くなり、その後の生育にも大きく影響した。そのため、本作型に適した育苗方法の検討が必要と考えられる。



図1 品種別花写真 (①ミスジーキルシリーズ (花形・色バリエーション), ②パピローサアフリカンブライド, ③ブルーイスタンブール)

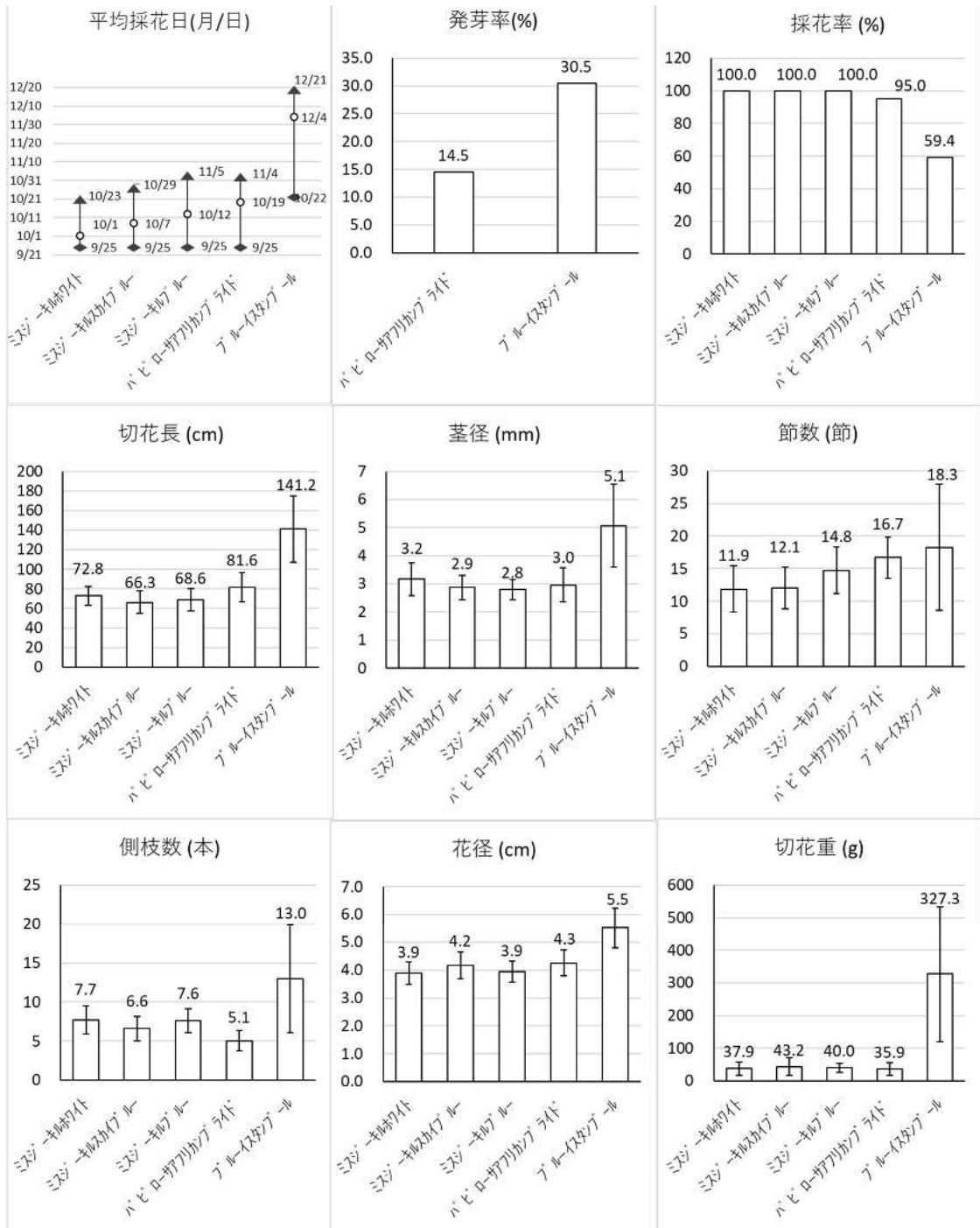


図2 ニゲラ切花結果 (切花長, 莖径, 節数, 側枝数, 花径, 切花重 : n = 10)

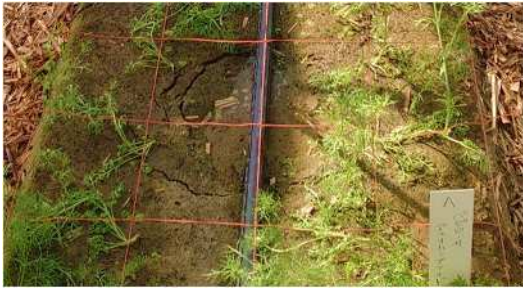


図3 ニゲラ写真 (左) ほ場 (右) 切花姿